

4

2024

三重病院

ニュースレター

news letter vol.291

- 01 臨床検査科の世界／外来からのお知らせ
臨床研究部からのお便り[第52回]
- 02 《5病棟》病棟紹介
5病棟の生活のひとコマ⁸⁸
2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
リソースナースってご存知ですか？
異動のごあいさつ
- 03 やまばとギャラリー情報コーナー
1病棟のせいかつ
通所支援事業のひとコマ
今月のみえツウちゃん
- 04 病院からのお願い／外来診察のご案内

早く、正確に、検査データを届けます。

～臨床検査科の世界～

臨床検査は病気の診断、治療方針の選択、治療効果や予後の判定などに関係する重要な分野です。当院検査科は臨床検査技師の国家資格を持つ10名(うち非常勤職員1名)のスタッフが、365日24時間対応(休日及び夜間はオンコール)で様々な検査業務を担っています。

検体検査は血液・尿・便・喀痰などを材料とし、各種臓器の機能評価や感染症の有無を数値化し報告しています。検査科の特徴として、三重県下の病院には導入実績が少ない検査機器が2台あります。アレルギー検査機器「Phadia(ファディア) 250」と遺伝子検査機器「Film Array(フィルムアレー)」です。

「Phadia 250」では、スギやダニなど22種類のアレルギー項目を検査しています。また研究段階で一般病院では検査出来ないアレルギー項目も研究目的で検査しています。今後も更に、アレルギー科と連携し院内で測定できる項目を増やすことを検討しています。「FilmArray」では、1回の鼻腔粘液採取で21種類の細菌・ウイルス感染の評価ができる検査が行えます。従来複数の細菌・ウイルスを検査する場合には、検査する細菌・ウイルスごとに鼻腔粘液を採取する必要がありましたが、「FilmArray」導入後は1回の採取で複数の検査ができるようになり、患者さんの検体採取での負担も軽減されました。また、これまで検査出来なかった一般的な風邪ウイルス(ライノウイルスやエンテロウイルスなど)や特殊な細菌(百日咳菌や肺炎クラミジア)が報告出来るようになり、医師の診断に大きく貢献しています。



Phadia 250



Film Array

生理機能検査は検査技師が直接患者さんに接して行う検査です。検査の種類としては、心機能検査、呼吸機能検査、超音波検査、脳波検査などがあります。その中で最も検査数が多いのは呼吸機能検査で、年間3000件ほど検査しています。当院は小児気管支喘息の治療・管理の

為、呼吸機能検査を行う事が多く、「吸って」「吐いて」などの声掛けが理解できる5歳前後から検査しています。小さなお子様は、スムーズに検査を行うのはなかなか難しく、初めて検査を行う時は「何をするのだろうか?」と不安になり泣いてしまう方もいらっしゃいます。そのため、努力性肺活量測定(FVC:測定曲線から気道の通過障害等を評価)や呼気中一酸化窒素濃度測定(FeNO:気道炎症の程度を評価)は、呼吸でアニメーションが動き、ゲーム感覚で楽しく検査が出来るようになっていました。検査終了後に患者さんから「楽しかった!」と言ってもらえる時もあり、とても嬉しく思います。



努力肺活量測定 (FVC)



呼気中一酸化窒素濃度測定 (FeNO)



臨床検査技師はあまり知られていない職業ですが、医療ドラマに度々登場するようになりました。「監察医朝顔」では中尾明慶、「アンナチュラル」では市川美日子、最近のドラマでは「グレートギフト」で波留が臨床検査技師役を演じています。メディアでも取り上げられたことで、臨床検査技師の認知度が上がり嬉しく思います。多くの検査機器を操作し迅速かつ正確に検査結果をお届けできるよう常に心掛け業務を行っています。ご来院される患者さんとは接することが少ない我々ですが、データ解析の専門部門として三重病院の医療に貢献してまいります。

(臨床検査技師長 大山 貴史)

外来からのお知らせ

休診

[耳鼻咽喉科] 4/11(木)…増田(代診なし)

[耳鼻咽喉科] 4/12(金)…臼井(代診なし)

当院の都合で急遽休診が出ることがあります。気になるようでしたら、受診当日、当院までお問い合わせください。